

概要資料

2016年8月30日

1. 基本情報

- (1) 国名：パプアニューギニア国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ポートモレスビー
- (3) 案件名：パプアニューギニア軍楽隊に対する音楽指導（技術協力（専門家派遣））
- (4) 事業の要約：

本事業は、パプアニューギニア（以下「PNG」という。）軍楽隊に対して技術協力専門家が音楽指導を行うことにより、軍楽隊の吹奏楽団としての演奏能力の向上を図るとともに、国家的行事や地域交流等において同国国民が多様な楽曲の演奏に触れる機会の増大を図り、もって文化振興を通じた同国の社会サービスの向上に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における文化（音楽）分野の開発の現状・課題及び本事業の位置付け
PNGは多部族国家であり各部族が豊かな独自の文化を有し、伝統的な舞踊や民族音楽等には慣れ親しんでいるが、音楽教育や吹奏楽器等の演奏については、インターナショナルスクールなど一部の学校等で行われているのみであり、一般国民が音楽に触れる機会は必ずしも十分に提供されているとは言えない。また、PNGは2018年に、「独立後最も重要」なイベントと位置付けるAPEC閣僚・首脳会議等をホストする予定であるが、こうした外交儀礼等の場面で演奏を担うPNG軍楽隊においては、吹奏楽団の編成及び楽隊員の演奏能力の向上が喫緊の課題となっている。軍楽隊が国家的行事や地域交流等を通じて同国各地域で演奏を行うようになることは、外交儀礼上のみならず同国のさらなる文化振興、音楽教育に大きく貢献するとともに、我が国協力の成果が多くの同国国民の目に触れることになり、二国間関係の強化にも寄与するものと考えられる。
- (2) 文化（音楽）分野に対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け
本事業により、今後、同国各地域で軍楽隊による多様な楽曲の演奏が行われるようになれば、同国国民が音楽に親しむ機会が増大し、学校教育における音楽分野の素養育成を補完することにもなり、ひいては国民生活の質向上に資することから、我が国の対パプアニューギニア国別援助方針に掲げる「社会サービスの向上」に繋がる支援と位置付けられる。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本事業は、PNG軍楽隊に対して技術協力専門家が音楽指導を行うことにより、軍楽隊の吹奏楽団としての演奏能力の向上を図るとともに、国家的行事や地域交流等において同国国民が多様な楽曲の演奏に触れる機会の増大を図り、もって文化振興を通じた同国の社会サービスの向上に寄与するもの。

② 事業内容

PNG軍楽隊に対する技術協力専門家を通じた音楽指導（基本的な音楽理論の指導、演奏実技指導、楽器の維持管理等）

③ 他の事業との関係

- (a) 草の根文化無償資金協力を通じた軍楽隊に対する３２人編成用の楽器整備を進めており、本事業による音楽指導との間で相乗効果が期待される。
- (b) 我が国防衛省は２０１８年のＡＰＥＣ閣僚・首脳会議での演奏に向け、能力構築支援事業を通じた軍楽隊の育成支援（短期間の派遣事業及び招へい事業）を進める計画である。本事業は、右能力構築支援事業と連携・補完しつつ実施する予定。

以 上